

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(4条 耐震設計方針 原子炉本体基礎の地震応答解析モデル関連)

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
1	2016/5/26	「鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程 (JEAC4618-2009)」を適用するに当たって、基礎の複雑な構造が、適用範囲や条件を超えていないのか。規程から外れているものがあるのかないのか、説明すること。また、規程を外れる場合には、適用性・準用の方法を説明すること。	本日回答		資料2-1	実機原子炉本体基礎の構造の特徴を抽出し、追加で検討が必要な事項について整理した結果を別紙4にて説明。(6/30) 資料構成の見直しを行ったため、本日改めて説明。
2	2016/5/26	原子炉本体基礎の加力試験の信頼性、実機への適用性で、試験体等の実機との相違点、保守性への配慮を考えているのか説明すること。保守性への影響が設計対象の構造物にどのように及ぼすのか説明すること。	本日回答		資料2-1	実機原子炉本体基礎と試験体の構造を比較して示し、追加で検討が必要な事項の有無を確認した結果を別紙4にて説明。(6/30) 資料構成の見直しを行ったため、本日改めて説明。
3	2016/5/26	機能維持に関する設計方針について、原子炉本体基礎のコンクリートに剪断ひび割れが発生した場合、圧縮力を負担する能力が保持されるのか、支持性能が保持されるのかを設計でどのように考慮されているのか、説明すること。 高圧縮下で、剪断ひび割れが発生した場合も、SC規程の適用範囲なのかを詳細な実験データを用いて説明すること。	本日回答		資料2-1	コンクリートせん断ひび割れ後の圧縮力の負担能力について、別紙4にて説明。(6/30) 資料構成の見直しを行ったため、本日改めて説明。
4	2016/5/26	原子炉建屋の地震応答解析等において、建屋本体については実強度、ベデスタルについては設計基準強度と混在している場合の科学的な合理性と保守性を説明すること。	本日回答		資料2-1	原子炉本体基礎の復元力特性に用いるコンクリート強度の取り扱いについて、別紙4にて説明。(6/30) 資料構成の見直しを行ったため、本日改めて説明。
5	2016/5/26	原子炉本体基礎のモデル化で、連成の機器の範囲について説明すること。	本日回答		資料2-1	地震応答解析モデルの考え方について、別紙4で説明。(6/30) 資料構成の見直しを行ったため、本日改めて説明。
6	2016/6/30	加力試験体における鉛直荷重の設定の考え方について、実機の復元力特性を再現する観点から適切である事を説明すること。	本日回答		資料2-1	加力試験体における鉛直荷重の設定の考え方について別紙4にて説明。
7	2016/6/30	SC規程の背景にある隔壁方式の試験データを示し、それに対してもSC規程が成り立つこと及び今回の加力試験もその範囲に含まれることを説明すること。 SC規程の採用を前提とした説明ではなく、SC規程の適用性を検討した上で採用した理由を説明すること。	本日回答		資料2-1	原子炉本体基礎の非線形解析モデルを採用する考え方について別紙4にて説明。
8	2016/6/30	地震応答解析モデルの高度化が、十分な耐震安全性を確保する等メリットを与えるものであることを説明すること。	本日回答		資料2-1	原子炉本体基礎の非線形解析モデルを採用する考え方について別紙4にて説明。